

8月の果実の見通し

品目	区分	入荷量(t)			単価(円/kg)			山形県産前年実績		コメント
		前年実績	前年比 見込 (%)	5カ年 平均	前年実績	前年比 見込 (%)	5カ年 平均	前年 入荷量 (t)	前年 占有率 (%)	
すいか類		10,709	100	11,114	178	93	155	5,268	49.2	山形、長野、秋田、青森産が出回る。山形は融雪遅れのため定植作業が10日程度遅れたが、6月以降の好天により3日程度の遅れまで回復してきた。全体の入荷量は前年並み、価格は前年が猛暑により例年にない高値だったため、前年よりかなり下回るが、例年よりはやや上回る見込み。
もも		5,524	110	6,031	458	89	418	301	5.4	福島、山梨、長野、山形産が中心となり全体の9割以上を占める。福島は主力品種あかつきの生育は良好で旧盆前から出荷ピークとなる。山梨はゆうぞらなどが出回る。全体の入荷量は前年より大幅に上回り、価格は高値だった前年よりかなり下回るが、例年よりはやや上回る見込み。
メロン類		3,376	100	3,008	313	115	348	789	23.4	北海道、山形、青森、茨城、静岡産が中心となり全体の8割を占める。品種はアールスメロン、貴味、アンデス、クインシーなど。北海道は盆明けから入荷増の見込み。茨城は生育期の好天により作柄は良好。全体の入荷量は前年並み、価格は安値だった前年よりかなり上回る見込み。
ぶどう (デラウエア)		1,292	100	1,340	521	101	496	979	75.8	山形、山梨産中心の入荷となる。山形は震災等による出荷ペースの遅れも回復し8月から入荷が増え、旧盆前後が出荷ピークとなる。適度な雨もあり肥大・食味とも良好。山梨は旧盆前が出荷ピークで8月いっぱい終了見込み。全体の入荷量は前年並み、価格は前年並みの見込み。
りんご (つがる)		886	105	1,072	370	96	325	253	28.6	長野、山形、山梨産中心の入荷となる。長野は生育遅れと降水量が少ないことから小玉傾向で、入荷は8月下旬からの見込み。山形は開花期の低温が懸念されたが、その後回復し生育順調となっている。全体の入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をやや下回る見込み。
ずもも		780	105	748	517	101	477	158	20.3	山梨、山形産が全体の8割を占める。山梨は2日程度の生育遅れだが作柄は概ね順調、ソルダムは7月下旬がピーク。山形はソルダムが8月上旬ピークで、中旬から下旬は太陽、貴陽が中心となる。全体の入荷量は前年をやや上回り、価格は前年並みの見込み。